

長野便教会 会報

ひとつ拾えば ひとつだけきれいになる

平成28年4月30日(土) 第87号

第10回小布施中学校掃除に学ぶ感謝の会



おかげさまで10回目を迎えました。

111年目も、大きな努力で小さな成果を！

3月12(土)・13日(日)、毎年恒例となっている「小布施中学校掃除に学ぶ感謝の会」が行われました。今年は10回目の節目ということもあって、田中義人会長ご夫妻をはじめ、愛知・山梨・富山・滋賀・東京・静岡からも大勢の皆さんにご参加いただき、にぎやかな会となりました。毎年のことながら、100名を超える小布施中生がお掃除に参加してくれるわけですが、今回の会で特筆すべきは、小布施中の卒業生で高校3年生の山崎真裕さんが「これで大学に進学し、小布施を離れることになるので来ました」と、当日の朝になって3年ぶりに参加してくれたことです。小布施町では、成人式の前日に新成人が自分たちの成人式の会場をお掃除するようになってきたことを会報84号でもお伝えしましたが、毎年3月のこの時期に10年続けてきたことが、思いがけずこんな形で返ってくるとは…本当にびっくりポン、最高のメモリアルになりました。その山崎さんからのご寄稿です。

掃除の神様が教えてくださったこと 小布施中学校卒業生(現・慶應義塾大学1年生)・山崎 真裕

私は小布施中学校2012年度卒業生です。在学時は震災の影響で中止になってしまった1年生のときを除き、2年連続で「感謝の会」に参加いたしました。高校に進学してからは足が遠退いていた本会ですが、弟から開催の話を聞き、大学進学にあたり小布施を去る今春、しっかりとけじめをつけようとの思いで参加させていただきました。

今回、掃除の神様が教えてくださったことは「限られた環境でベストを尽くすという心意気」「協働の楽しさ」「楽しんでもいいという許し」です。

私はけじめをつけたいというのが参加動機でしたので、当初は孤独な洋式トイレでひたすら汚れと向き合い、完璧にしようと取り組んでいました。しかし時間制限のあるなかで便器の裏側の水垢を完全に落とすことは不可能に近く、私は次第に、できる範囲でのベストを尽くそうと思えるようになりました。

また、最初私は余計な先輩風は吹かすまいと中学生のみんなから距離を置いていましたが、作業の中で会話するうちに協働の楽しさを思い出しました。またトイレ掃除のような真面目なことだからといって、楽しくやってはいけないということはないのだと気付かされました。

確かに、私が今回気づかせてもらった3つのことは私にとって新しい学びではありません。短い人生のどこかで、学んでいたことではあると思います。しかしこのタイミングで改めて気づかせもらったということそのものに、きっと大きな意味があると思っています。春からの新天地にて、それらを大切にしなさいということなのかもしれません。よい気付きをもらったと思っています。この気付きを胸に、春からいっそう精進して参りたいと思います。この度は本当にありがとうございました。

いかがですか。こんな若者が小布施には着々と育っているかと思うと、小布施町の10年後・20年後が本当に楽しみです。かくなる上は、小布施町に移住したいくらいです(笑)

さらに、びっくりポンをもうひとつ。

4月21日(木)、小布施掃除に学ぶ会の代表世話人の木下豊さんと「感謝の会」実行委員長の牛山大輔さんが、小布施中学校に3月の会の御礼と今後の月例会へのお誘いも兼ねて、お二人でご挨拶に行かれたのだそうです。校長先生はご都合でお留守だったようですが、対応していただいた今井一弘教頭先生から、中学校の年間計画を手渡されたのだそうです。するとそこには…。以下、木下さんのブログから転記させていただきます。

十年偉大なり

小布施掃除に学ぶ会代表世話人・木下 豊

先日、お掃除仲間の牛山大輔さんと、小布施中学校を訪ねました。わたしの母校であり、小布施掃除に学ぶ会が毎年3月の高校入試と卒業式の間の日曜日に、「掃除に学ぶ感謝の会」という名の、百数十人が参加してトイレの便器を清める催しを開いている学校です。

おいそがしいところ応対してくださった今井教頭先生は、にこにこされながら、わたしたちに1枚の紙をくださいました。同校の年間計画表でした。A3判横長の表の「3月」の欄を見たわたしたち二人の目は、くぎづけになりました。

3月12日(日)に、「掃除に学ぶ感謝の会」と記されていました。「もう本校の恒例行事であり、本校のお掃除文化を養っていただいている大事な催しですから」と、今井先生(にこにこ)。これまで同校の先生方には、ご理解とご協力をいたしましたが、年間計画表に明記していただけたのは、今年が初めてのことです。会が10年つづいているのもすばらしいですが、その成果として、年間計画表に正式な行事として公認されたのは、「快挙」と呼びたいくらいの出来事です。

鍵山秀三郎さんの名言のひとつ「十年偉大なり、二十年おそるべし、三十年歴史なる。」

では、小布施掃除に学ぶ会が、これからもつづいてゆくには、どうしたらいいのでしょうか?それを考えぬくことは、ほかの団体や組織を生き生きとつづけてゆくためのヒントを考えることでもあると思います。

今井教頭先生は、年度末のお忙しい中にもかかわらず、「感謝の会」に先立って前日に行われた田中義人会長のご講演も聴きにおいてになっていました。そうした先生だからこそ、こうした応対をしていただけるのだと思います。次の10年に向けた、初年度の11年目の春。いい手応えを感じます。今後とも今まで同様、「大きな努力で小さな成果」を積み重ねていきましょう。

2 お知らせ

○小布施掃除に学ぶ会・月例会→毎月第2日曜朝6時~8時30分(5:45にはご集合ください)

4月から12月までの9ヶ月間は、栗ガ丘小学校にて行います。ご参加お待ちしております。

New! ○第9回長野県中学校清掃サミット→平成28年7月30日(土)・31日(日)中野市立中野平中学校

今年の清掃サミットは、長野便教会がスタートした原点の学校にて開催決定!ぜひご参加を!

この春の人事異動で、**私・太田は木島平中学校から山ノ内町立南小学校へ転任**となりました。木島平中では第3回清掃サミットの開催も含め、7年間もお世話になりました。ありがとうございました。新任地では3年生の担任になりましたが、教室がけっこう汚れていたので、出会って2日目でしたが、早速お掃除をしてみました。するとどうでしょう。「すごいきれいになる!」「おもしろい!」と



黙々とキレイにしてくれました。さっきおろしたばかりの新しいぞうきんは、たった1時間で真っ黒に。「こんなに掃除がおもしろいって、今日初めて知った」「またやりたい」と、頼もしい声が飛び交いました。3年生になって2日目だってここまでできます!新任地でも頑張ります!!

〒383-0021 中野市西2-9-2 長野便教会事務局・太田 智明(山ノ内町立南小学校教諭)

携帯電話・090-2238-2934 Eメール・otato2005@yahoo.co.jp

小布施掃除に学ぶ会HP・<http://obuse-souji.com/>